

# サンゴの光による変化



# サンゴ&サンゴ礁とは??

別名【海の熱帯雨林】 【海のオアシス】

産卵や稚魚の育つ場所として利用される事がある

褐色や紫色、緑色など様々な色が存在する。

酸素やタンパク質、炭水化物などを有機物として取り入れている。

海の豊かな生態系はサンゴがベースになっている。

海水のCO2濃度調節に必要不可欠な存在である。

海流、高波を和らげる堤防＝バリアフリー

サンゴは褐虫藻が生息した多数のポリプで覆われている。



# 褐虫藻とは

サンゴやシャコ貝などの**無脊椎動物**に生息している。

**光合成産物**、また自ら動物プランクトンを捕食することがある。

大きさはおよそ**10マイクロメートル**

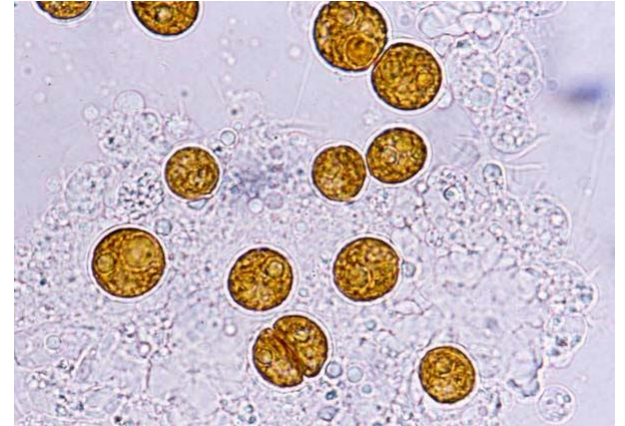
宿主から離れるときは泳ぐこともできる。

サンゴが出す二酸化炭素、アンモニアによって光合成を行い、

その光合成によって出された有機物（酸素、タンパク質、炭水化物など）を

サンゴなどに渡す。

**サンゴの色は褐虫藻の色**



# サンゴの色々な種類の色

## 研究した内容

サンゴには同じ種類でも様々な色が存在する。



同じ種類なのに色が違う原因はなんだろう？



サンゴの色は褐虫藻からできているから

日光が原因かも？



# 行ったこと

サンゴを切って小さくして増殖した

日光に代わりに光を使い、  
光があつたているサンゴを定期的にチェックする。

(サンゴによつての光の強さを変えることは  
電気の調節が出来なかつたので不可能だつた。)

必ずとる場所とるサンゴは変えず、できる限りサンゴは触れないようにした。

# 今年の変化①

1週目



2週目



3週目



## 今年変化②

このことから、

残念ながら変化があまりなかった。

大きさも見てわかる変化は見られなかった。

サンゴは基本的な成長が遅いのでまだ目でわかる変化を見ることができなかった

サンゴの観察が週一回しか出来ず、また一月からほぼ観察が出来なかったので観察の材料が少なかった、

4週目



5週目



6週目



# 今のサンゴの現状

世界のサンゴの50%が

私たちの行動（森林伐採、海洋汚染、沿岸開発などなど）により  
脅かされている。

温暖化による白化（サンゴに生息している褐虫藻が  
へってしまい白くなること）や  
台風によるサンゴ破壊などでサンゴが  
どんどん死滅している状態。





# 私たちにできること

陸地関係の活動に積極的に参加すること。

植樹、河川敷などのゴミ拾い等のエコツアーがあり、  
具体的には沖縄県の石垣島にある【りんぱな】がある。

サンゴを海に移植する。

日焼け止めに気を遣う。（海洋生物にあくえいきょうの化学物質が  
含まれているから）

# みんなにサンゴを知ってもらうために

深刻な状況にあるサンゴサンゴを知ってもらうためには、  
まずサンゴに注目してもらう必要があるので  
今年度(地学天文学)の方々にInstagramを開設して  
少しずつだが投稿するようにしている。  
地道にサンゴのことについて興味をわいて  
もらえるようにしている

